

1 未来イメージの提示

- 「家」「移動」「仕事」「エンタメ」の各シーンごとに求められる技術・サービスについて、「現在の技術で何ができるか」、課題→解決、「5年、10年後に可能になること」を整理

【今回のヒアリング】

- 障害者等の「就労」マッチングイメージ（東京大学先端科学技術センター 檜山様）
- 障害者等の「エンタメ」イメージ（東京大学先端科学技術センター 登嶋様）

※「家」、「移動」の各シーン、課題等については事務局において調査中。

2 エビデンスベースの当事者参加型の開発スキーム

- 障害の種類に応じた、**障害者個々人の状態と生活状況等に関するデータ収集と共有化の仕組みの在り方**

【今回のヒアリング】（加賀市）

- 障害者情報の一元化に向けた取組
 - ・どのようなデータが必要か（要望、個々人の状況等）、
 - ・収集方法、
 - ・本人同意の取り方、
 - ・新技術等の活用、
 - ・匿名加工等の方法、
 - ・データ共有の可否、等
- マッチングの仕方
 - ・システム構築、
 - ・マッチング交流会、
 - ・マッチングの在り方、等

※集めたデータを基にしたICT機器・サービス開発の可能性

- 本データを基にしたICT機器・サービスの開発を促進するとともに、利用者の声を開発者にフィードバックし**改良を重ねていくための仕組みの在り方**

- 上記運営のための、**関連業界・有識者・障害者団体等から構成されるコンソーシアムの在り方**

【今回のヒアリング】（一般社団法人日本支援技術協会）

- 情報支援技術の普及啓発・人材育成等の取組
 - ・関連業界との連携、
 - ・コンソーシアムの在り方、等

- 本スキームで開発されたICT機器・サービスの**認定制度の創設、標準化・国際展開の支援方策**

3 障害者等の就労支援

- ICTを活用した障害者の就労機会の多様化実現のための、特別支援学校等と連携したICTスキルの習得やマッチング等の就労支援の仕組みの在り方
- ICTを活用した就業後のフォロー方策の在り方

4 情報アクセシビリティの確保

- 情報及びコミュニケーションツールに関するアクセシビリティ確保のための制度整備の方針

● エビデンスベースの障害当事者参加型ICT機器・サービスの開発等

ICT共生社会コンソーシアム（イメージ）

（目的）障害当事者参加型の製品・サービスの企画・開発・普及の支援

メンバー [メーカー、介護福祉関係団体・企業、ベンチャー、クラウド系、コンテンツ系、通信・放送、中小企業等

- <障害者関連情報ポータルの開発・運営>
- <障害者関連データの匿名化、データ提供>
- <障害当事者モニターによるICT機器・サービスの技術評価（改善）>
- <各種セミナー、意識啓発・普及啓発活動>
- <就労支援>

障害者関連情報ポータル

視覚	聴覚等	肢体不自由	知的	精神	...
----	-----	-------	----	----	-----

データの収集・共有
各種相互協力

- ・障害の程度
- ・生活状況
- ・成育状況
- ・ICT関連の要望 等

障害者就業・生活支援センター等

特別支援学校等

自治体（都道府県・市区町村）、障害関連団体、NPO等

視覚

聴覚等

肢体不自由

知的

精神

等

◎IoT、AI等を活用した障害者個々人の状態等の詳細把握

※センサー活用etc…